

令和3年度今金町社会福祉協議会事業報告

(第6期今金町地域福祉実践計画実施状況)

■法人運営 「組織の強化と連携の輪」

1. 人材育成と体制整備	<p>(1) 事業企画・組織運営に係るマネジメントスキルの習得・向上</p> <p>○職場内における定期的な業務進捗状況の把握と進行指導・管理 ⇒必要な都度、各部署との会議を開催し、課題や業務改善のための取り組みを行った。</p>
	<p>(2) 職員の専門スキル向上</p> <p>○社協職員としての心構えの刷り込み ⇒朝礼時や必要な都度、社協の経営方針を提示。</p> <p>○研修への積極的な参加によるスキルアップ ⇒各種研修会に積極的に参加し、専門性の向上に努めた。今年度はw e b会議やオンライン研修がほとんどであった。 ※研修内容については、別紙「月別事業報告」のとおり</p>
	<p>(3) リスクマネジメント体制の確立</p> <p>○危機管理意識の向上を図るための勉強会の開催 ⇒感染症に対する危機管理意識の向上を目的に、「今金町感染対策連絡会議・研修会」に職員が出席した。 また、「吐物処理講習」と「救命講習」を行った。</p>
	<p>(4) 法人運営の透明性の確保</p> <p>○サービスの自己評価に基づく公表 ⇒第6期地域福祉実践計画の実施状況について評議員会において公表した。 (R4. 3. 30)</p> <p>○事業内容や財務状況を広く周知できる仕組みの検討 ⇒インターネットSNSを活用し、法人の取り組みについて広く公表することができた。</p> <p>○監事監査の実施 ⇒社協監事により四半期ごとに監査を実施した。 第1四半期定例監査 (R3. 7. 12) 第2四半期定例監査 (R3. 10. 19) 第3四半期定例監査 (R4. 1. 17) 第4四半期定例監査及び決算監査 (R4. 5. 25)</p>
	<p>(5) 苦情処理体制の整備</p> <p>苦情対応マニュアル (H18 年度作成) に基づき体制整備は行ったが、今年度は苦情事例がないため、実績無し。 <社協の第三者委員> 天 井 幸 雄 氏 (今金町自治会町内会連合会長) 岩 坂 龍 子 氏 (今金町主任児童委員)</p>

2. 関係機
関との情
報共有・連
携

(1) 地域包括支援センター

⇒要支援者情報の共有化を図りながら、困難事例等への対応にあたった。
(問題が複雑化している世帯への支援、認知症に関わる世帯への支援等)
・地域ケア会議への参加…年1回(R3.11.30)

介護保険制度の改正に伴い義務化された市町村独自の取り組みについて積極的に参画し協議を行った。

介護保険サービスの利用に係るケアマネジャーへの円滑な引継ぎ。

生活支援コーディネーター業務に関わる社会資源開発に協働で取り組んだ。
(生活支援体制整備事業)

(2) 民生委員児童委員協議会

○定例会議への出席

⇒月1回開催される定例会議に職員が参加し、要支援者情報の提供や収集を行いながら、業務にあたった。

○社協役員との交流研修会(地域福祉研修会)の開催

⇒昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止になった。

○各事業等の相互協力

⇒各地区サロン活動が新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止や縮小になり地区担当民生委員さんの参加協力も自粛となった。

⇒民協主催「ふれあい広場」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった。

(3) 介護保険・障害福祉関連事業所

○社会福祉法人(ひかりの里・豊寿園)

⇒各法人から評議員を選出していただいている。また、法人の事業への参加協力などを通じて、連携交流が図られた。

○相談支援事業所ひかり

⇒障がい者の社会参加の助長や自立支援を目的に、「身体障害者福祉協会」の事業を通じた関わりや、地域の障がい者支援に関して、助言をいただきながら対応を行った。

○今金高等養護学校

⇒今金高等養護学校生徒さんの職場実習として、デイサービスで受入を行った。

(4) 福祉の総合窓口としての体制確立へ向けた連携協力

○保健福祉課との協働による福祉総合窓口の充実に向けた検討

⇒相談者がとしべつに来た際に、円滑に困りごと(用事)が解決できるよう、常に連携を図り、対応することができた。

<p>3 役職員の意識啓発を目的とした各種会議の活性化</p>	<p>(1) 理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○理事・監事の役割の明確化と機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒理事会（会議）のあり方を再検討しながら、活発な意見交換が図られた。 理事会開催数 計7回 (うち、第1回と第6回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議とする。) 主な内容「事業計画及び収支予算」、「規程等の改正」、「事業報告及び収支決算」、「事業実施の検討」等 ○外部研修会への積極的な参加 <ul style="list-style-type: none"> ⇒道社協などが主催する研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止になったり、参加を控えたものが多かった。 ※詳細は、別紙「月別事業報告」のとおり
	<p>(2) 評議員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒本会の最高議決機関として、評議員会を年2回開催した。 第1回 令和3年 6月22日 「事業報告及び収支決算」 第2回 令和4年 3月30日 「事業計画及び収支予算」 (第1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議とする。) 
	<p>(3) 委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運営委員会 計4回開催 (R3.4.5) (R3.5.6) (R3.5.26) (R3.9.29)
	<p>(4) 評議員選任・解任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今年度2回開催したが、いずれも書面会議となった。 (R3.6.7) (R4.3.7)
	<p>(5) 職員会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒必要な都度、部門ごとの課題検討を行った。

<p>4. 福祉の普及啓発</p>	<p>(1) 社協だよりの発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒福祉の普及啓発を目的に、月1回社協だよりを発行。 社協で実施する事業の紹介などのPRを積極的に行った。 発行回数…12回 発行部数…5,520部
	<p>(2) 町内行事への積極的な参加による福祉啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今金町総合文化祭への参加 ⇒10月30日～10月31日開催の第52回今金町総合文化祭の展示部門に参加しPR活動を行った。 

■地域福祉活動推進 「支え合いの仕組み」

1. 住民主体の相互支え合い体制づくり

(1) 福祉教育の推進

- 檜山北高等学校 総合的な学習「地域探求」講師 (R3. 4. 30)
⇒職員 2 名派遣
- 檜山北高等学校 「介護に関わる講座」講師 (R3. 10. 28)
⇒職員 4 名派遣
- 福祉の出前講座
⇒レクリエーション指導 (7 回)



(2) ふれあいいきいきサロン

- 運営支援
⇒住民主体による高齢者のつどいの場の開催時に支援を行った。

<サロン活動実施地区>

- ・中里 (中里ひまわり会)
- ・緑町 (みどりサロン)
- ・末広町 (すえひろ なかよし)
- ・高美町 (ふまねっと たかみ)
- ・本町 (ホット本町ふまねっと)
- ・東町 (東遊クラブ)



(3) 支え合い活動の推進

- 福祉用具・育児用品・子ども服リサイクル
⇒・福祉用具、育児用品リサイクル事業では、ご家庭で不要になった介護用福祉用具や子供用育児用品を必要な家庭へ橋渡しすることにより、互いに支え合える地域づくりの一助とすることを目的に実施した。
<受け渡しが成立した主な物品>
チャイルドシート、ベビーバス、ベビーカー、ジュニアシート、ベビーベッド
- ・子ども服リサイクル事業では、ご家庭で不要になった子ども服 (主に就学前まで) などを、保健師さんが実施する健診や事業等の際にコーナーを設置し、必要な人へとつなぐことにより、子育て世帯の経済的負担軽減と互いに支え合える地域づくりの一助とすることを目的に実施した。

(4) ふれあい・つながりづくり

○ふれあいパークゴルフ大会

⇒高齢者及び障がい者がスポーツを通じて心と心のふれあいを深めることにより相互の助け合い・支え合える地域づくりを目指し開催した。(R3. 10. 6)

参加者…28名

○ふれあいはがき郵送事業

⇒一人暮らし高齢者の孤立感・不安感の解消を目的に、学童保育所に通う児童の皆さんにご協力をいただき、メッセージを添えたハガキを郵送した。高齢者から大変喜んでいただいた。(R3. 7月とR4. 2月に実施)
郵送件数…361件



○ふれあい交流会（老人クラブ連合会との共催）

⇒新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止になった。

○高齢者つながりプロジェクト事業

⇒町内在住で福祉サービスを利用していない80歳以上のおひとり暮らしの方を対象とした事業で、暮らしの役立つ情報を入れた郵便物を郵送した。
また、対象の方には役職員が電話による安否確認をした。
(R3. 6. 1) (R3. 9. 1) (R3. 12. 1) (R4. 3. 1)

郵送件数…483件

(5) 機器・備品等貸出事業

○レクリエーション貸出事業

⇒町内会・自治会や各団体の交流手段として、社協で保有するレクリエーション用具の貸出を行った。

貸出件数…12件

主な貸出先…各団体へ5件、
老人クラブへ7件

○縁日用品貸出（自治会町内会連合会との共催）

⇒町内会・自治会や各団体が実施するイベントに対し、縁日グッズを貸出活用していただくことにより、各団体の活性化を図ることを目的に貸出を行った。

貸出件数…3件

主な貸出先…各団体へ3件



○長寿祝着貸出事業

⇒大切なご家族・親しい方の長寿のお祝いに、長寿祝着の貸出を行った。

貸出件数… 3件

(内訳) 還暦～1件

古希、喜寿、傘寿、卒寿～2件

米寿～0件



(6) 赤い羽根共同募金運動の推進

○赤い羽根共同募金(10月1日～12月31日)

⇒10月1日から12月31日までの期間、町民の皆様のご協力により、募金活動を行った。

- ・全戸募金(町内全戸対象 2, 107世帯) 1, 061, 200円
- ・企業募金(町内企業対象 88件) 323, 500円
- ・職域募金(役場、としべつ、国保病院等) 35, 997円
- ・街頭募金(今金町農協前、TOSTOA前で社協役員が募金募った) 32, 235円
- ・その他(いまルンピンバッジ など) 135, 834円



令和3年度目標額…1, 634, 000円に対し、
収納合計額…1, 588, 766円
目標達成率…97.2%

○歳末たすけあい募金配分実績

事業費 1件 46, 325円
(高齢者歳末ふれあい事業)



(7) 自治会町内会連合会活動支援(事務局)

⇒町内会・連合自治会・自治会で組織する自治会町内会連合会の事務局として、会計事務管理など、団体の運営支援を行った。会議や研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止になる。

<主な行事>

- 7月…第1回三役部長会議
- 11月…第2回三役部長会議
町づくり推進調整会議
- 12月…情報共有会議
- 1月…第3回三役部長会議、監事監査
- 2月…総会
- 3月…会報発行

(8) 老人クラブ活動支援（事務局）

⇒町内10地区の老人クラブで構成する老人クラブ連合会の事務局として、行事の開催や各地区の相談などの支援を行った。

<主な行事>

- 4月…三役会議、総会
- 5月…三役会議
- 6月…三役会議、会長会議
- 7月…健康づくりパークゴルフ交流会、今金老連パークゴルフ大会
- 8月…健康づくりパークゴルフ交流会
- 9月…三役会議
- 10月…健康づくりパークゴルフ交流会
- 11月…高齢者ミニミニいきいき運動会
- 12月…三役会議、クリスマスカード作り
- 1月…三役会議
- 2月…会長会議



2. ボランティアの推進・普及と充実

(1) 情報の収集・提供・相談等活動のコーディネート

⇒ボランティアをしたい人・してもらいたい人をつなぐことを基本とし、さまざまな活動依頼に対し、橋渡しを行った。

年間延べ活動者数 30名

<活動内容>

子ども・子育て関係（保健福祉課・教育委員会からの依頼）

- ・ブックスタート事業 9名
- ・すくすく親子広場事業 11名
- ・事業・イベント時の託児 8名
- ・ブックスタートバック、お着換え袋作製 2名



(2) 一人でもできるボランティアの推進

○リングプル回収事業

⇒今金町内の様々な機関にご協力をいただき、リングプルを集めて、車いすに交換する取り組みを行った。

これまでの車いす交換台数…8台

1台当たりの必要数量 …700kg

保有累計 …490kg

○ペットボトルキャップ回収事業

⇒再資源化を促進することにより二酸化炭素の発生抑制に寄与できると同時にキャップの売却益で発展途上国の子ども達にワクチンなどを届ける活動の他、障がい者の自立を支援する活動に充てられる。

令和3年度中に町内で集められたキャップ量 680kg

	<p>(3) 活動者へのサポート</p> <p>○ボランティア活動保険加入促進 ⇒安心してボランティア活動が行えるよう保険加入促進を行った。</p> <p>＜ボランティア活動保険加入者＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ボランティア…43名 ・団体による加入者…21名
--	---

<p>3. 子育て支援</p>	<p>(1) 仕事と子育て両立支援</p> <p>○病後児の預かりを含めたファミリーサポート事業の推進 ⇒今年度の利用実績は7件であったが、今後も安心して利用できる体制づくり・仕組みづくりをして、新規会員（提供会員・依頼会員）の登録、利用促進に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供会員（援助を行いたい）登録者数… 5名 ・依頼会員（援助を受けたい）登録者数… 5名
	<p>(2) 子育て世帯の経済的負担の軽減と支援</p> <p>○育児用品リサイクル ※再掲のため省略 ○子ども服リサイクル ※再掲のため省略 ○ふれあいフリーマーケットの開催 ⇒新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止になった。</p>
	<p>(3) ひとり親家庭の見守り支援活動</p> <p>○パパ・ママ応援事業 ⇒今年度新たな取り組みとして、コロナ禍で大変な思いをしているひとり親家庭に応援物資の配布を行った。実績…3世帯</p>

<p>4. 防災・減災活動の推進</p>	<p>(1) 災害時要援護者支援の体制整備</p> <p>○日常の見守り（小地域福祉活動）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者見守り活動（職員により通年実施） ⇒概ね75歳以上の一人暮らし高齢者の自宅へ社協職員が安否確認を兼ねて訪問し、地域包括支援センターへ情報提供や必要なサービスへの橋渡しを、民生児童委員との連携のもとに実施し、見守り体制の強化を図った。 訪問人数…93名 ・友愛訪問事業 ⇒コロナ禍なので、訪問による困りごと相談ではなく、郵便配布による対応に変更した。再掲…高齢者つながりプロジェクト
----------------------	--

	<p>(2) 自主防災組織の体制の確立</p> <p>○昨年度で終了した「防災を考えるつどい」に代わる事業を関係機関と協議して実施する予定ではあったが、実施できなかった。</p>
	<p>(3) 災害時の支援体制の確立</p> <p>○北海道社会福祉協議会との災害救援協定の締結</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道内において災害が発生した場合、道社協と市町村社協が相互に連携し、被害を受けた地域の社協の救援活動を支援するための協定を平成29年度中に締結、令和元年度「今金町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を制定した。 <p>○檜山管内災害ボランティア組織連携会議に参加した。(R3.12.13)</p>

■在宅福祉サービス 「生活を支える」

<p>1. 介護予防</p>	<p>(1) 高齢者の生きがい・役割づくり</p> <p>○老人クラブ支援事業</p> <p>⇒老人クラブ連合会事務局を通じて、事業を活発に取り組み、生きがいづくり・役割づくりの実践活動を行った。</p> <p>※再掲のため省略</p> <p>(2) 専門職等との連携</p> <p>○介護予防の視点を取り入れた事業の実施</p> <p>⇒保健福祉課との連携の基、作業療法士、栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士などの専門職とつながりを持ち、社協本体や各団体等の事業に協力していただいた。</p>
----------------	---

<p>2. 生活支援総合事業</p>	<p>(1) 外出手段の確保</p> <p>○普通車両では移動が困難な方の外出・社会参加機会の確保</p> <p>⇒今年度、貸出実績なし</p> <p>(2) 備品等貸出事業</p> <p>○車いす</p> <p>⇒突然の病気やケガなどにより車いすが必要になった場合や、ご家族と外出する際、安心して移動する際の貸出を行った。</p> <p>＜主な貸出例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族と外出するため ・病院受診のため <p>＜車いす保有台数＞… 7台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間延利用者数… 20名 ・年間延貸出日数… 286日
--------------------	---



(3) 制度対象外独自支援事業

○あんしんコールサービス

⇒ひとり暮らし高齢者等が、地域で安心して暮らすことができるよう、週1回電話での安否確認。

・利用件数 … 0件

○あんしん訪問サービス

⇒ひとり暮らし高齢者等が、地域で安心して暮らすことができるよう、自宅を訪問し、話し相手に加え、ちょっとしたお手伝いも可能

・利用件数 … 3件

(4) 行政福祉サービスとのサービス形態連携

○配食サービス

○あんしん電話サービス

○除雪サービス

⇒いずれのサービスもご本人の申請に基づき受けられるサービスであるが、必要な人が必要なサービスを受けられることを心がけ、社協役職員と民生児童委員らと連携して利用促進を行った。

3. 高齢者 介護支援

(1) 訪問介護事業

営業日数 257日 日平均利用者 5名

従事者 5名

○訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業（第一号）訪問事業

⇒介護保険制度の要介護認定で要支援1から要介護5と判定された方に提供される訪問介護や総合事業によるチェックリスト該当者に提供される訪問介護

<月平均実利用者>… 19名

・年間実延利用者数 222名

・年間延利用回数 1,244回

・介護保険費用 4,892,450円

・介護度別＝総合事業チェックリスト：2名

総合事業支援1：4名

総合事業支援2：2名

要介護1：6名、要介護2：2名

要介護3：1名、要介護4：0名

要介護5：0名（3月末現在）計17名

(2) 通所介護事業

営業日数 257日 日平均利用者 12名

従事者 6名（正職2名 臨時2名 パート2名）

○地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業（第一号）通所事業

⇒介護保険制度の要介護認定で要支援1から要介護5と判定された方に提供される通所介護や総合事業によるチェックリスト該当者に提供される通所介護

<月平均実利用者>… 49名

・年間実延利用者数 586名

・年間延利用回数 2,964回

・介護保険費用 20,149,010円

・介護度別＝総合事業チェックリスト：7名

総合事業支援1：7名

総合事業支援2：3名

要介護1：15名、要介護2：6名

要介護3：5名、要介護4：3名

要介護5：0名（3月末現在）計45名

(3) 居宅介護支援事業

○居宅介護支援事業

⇒介護保険制度の要介護認定で介護度1から5と判定された方に対して適切な介護サービス等が提供されるよう支援を行った。

ケアマネジャー 2名(専任)

- ・月平均実利用者数 50名
- ・介護保険費用 7,005,330円
- ・介護度別＝要介護1:22名、要介護2:9名
要介護3:8名、要介護4:4名
要介護5:2名(3月末現在)45名

○居宅介護予防支援事業(町受託事業)

⇒介護保険制度の要介護認定で要支援1・要支援2と判定された方に対して適切な介護サービス等が提供されるよう今金町より受託し支援を行った。

ケアマネジャー 2名(専任)

- ・月平均実利用者数 4名
- ・受託金収入 190,190円
- ・介護度別＝要支援1:0名、要支援2:3名
(3月末現在)3名

○介護認定訪問調査事業(町受託事業)

⇒介護保険制度の要介護認定を受けた方で、有効期間満了等により認定の更新をする際に実施する訪問調査を今金町より受託し実施した。

- ・調査件数 27件
- ・受託収入 103,950円

4. 障がい者生活支援

(1) 居宅介護・重度訪問介護事業

従事者5名(介護保険事業所ヘルパーが兼務)

○障害福祉サービス事業

⇒障害者自立支援制度に基づき提供されるホームヘルプサービス

- <月平均実利用者数>… 4名
- ・年間実延利用者数 47名
- ・年間延利用回数 244回
- ・費用合計 1,301,050円(3月末現在)

(2) 地域支援事業の実施

○生活サポート事業

⇒実施実績無し

○移動支援事業

⇒実施実績無し

(3) 障がい者の社会参加の促進

(身体障害者福祉協会運営支援：事務局)

⇒身体障害者の福祉の高揚を目的に、社会参加の促進や会員相互の親睦を目的に活動の運営支援を行った。

<主な事業>

- 4月…役員会、総会（書面会議）
- 8月…軽スポーツ交流会（中止）
- 10月…健康づくり交流会
- 11月…役員会
- 3月…役員会



■あんしんサポート「安心の仕組み」

1. あんしんサポートセンター運営

(1) 心配ごと相談事業

⇒生活に不安を抱える方に対し、いざという時の対応が迅速にとれるように、定期的な訪問活動や電話での相談対応を行った。

- ・開設日数 242日
- ・要支援者への訪問活動 75回
- ・窓口での相談対応 12回
- ・電話による相談対応 78回

(2) 成年後見支援事業（町受託事業）

⇒認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が十分でない方の権利を擁護するために重要な役割を果たす「成年後見制度」の利用促進を図ることを目的に、専門員1名を配置し、関係機関と連携を図りながら取り組んだ。

<主な取り組み>

○法人後見の確実な実施

- ・平成30年度1件、令和元年度1件、令和3年度2件を家庭裁判所より受任し、被後見人に対して必要な支援を行った。

○市民後見人養成講座終了生のフォローアップ研修会

(R3.12.14) 参加者…24名

(3) 日常生活自立支援事業（道社協受託事業）

⇒上記(2)に関連して、その前段となる制度（事業）として、主に福祉サービス利用援助、日常的金銭管理の支援を専門員が作成する個別支援計画に基づき、生活支援員が支援を行った。

- ・生活支援員登録者数 3名
- ・現在の対象者数 3名

	<p>(4) 生活応急資金貸付事業 (本会独自事業)</p> <p>⇒今金町内に在住する低所得者世帯に対し、生活・災害・疾病・葬祭等の不時の出費を要するものに貸付を行うことにより、福祉の増進を図ることを目的に事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間貸付件数 … 4件 ・前年度残高 … 0円 ・貸付額 … 40,000円 ・償還額 … 30,000円 ・本年度末残高 … 10,000円
	<p>(5) 生活福祉資金貸付事業 (道社協受託事業)</p> <p>⇒低所得者、障がい者又は高齢者に対し、必要な援助指導を行い安定した生活を送れるように、事業を行った。</p> <p><緊急小口資金、総合支援資金></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談件数…9件 ・年間貸出件数…2件 <p>○隙間支援事業「あんしんお預かりサービス」</p> <p>⇒本人または親族に代わり金銭管理を行い、安心した生活が営めるようにお手伝いをします。 利用件数 … 3件</p>

<p>2. 認知症 支援</p>	<p>(1) 認知症見守り活動支援事業</p> <p>⇒認知症サポーター等関係機関と連携・協力を図り、見守りネットワーク会議へ参画した。</p>
----------------------	---